

がん化学(放射線)療法レジメン申請書 (ver.4)

・記載不備がある場合は審査対象になりません。＊は記入不要です。

申請日	2025 年 6 月 6 日	受付番号	＊
診療科名	呼吸器・感染症内科	がん種(コード)	＊
診療科長名		登録ナンバー	＊
申請医師名		承認日	＊
審査区分(下記をチェックしてください)		マスタ登録日	＊
通常審査を希望	☒	マスタ変更日	＊
迅速審査を希望	☐ 注 1)	最終改訂年月日	＊
迅速審査(患者追加)を希望 (過去登録歴あり)	☐ 注 1)	登録削除日	＊
HP でのレジメン公開の可否	可 ☒ 不可 ☐		

注 1) 迅速審査は患者限定となります。

がん種	レジメン名	実施区分	使用分類	適応分類
非小細胞肺癌	NSCLC_Amivant amab+Lazertinib 注2)	☐ 入院 ☐ 外来 ☒ 入院及び 外来	☒ 日常診療(試験以外) ☐ 単施設自主研究 ☐ 多施設自主研究 ☐ 市販後臨床試験 ☐ 治験 ☐ その他	☐ 術前補助化学療法 ☐ 術後補助化学療法 ☒ 通常化学療法 ☐ 大量化学療法 ☐ その他()

・申請されたレジメンは原則共用ですが、科限定を希望する場合(治験や特殊な化学療法)は右にチェックしてください。 ☐

注 2) レジメン名の命名法: ①疾患(臓器) ②薬剤(多剤の場合はコンセンサスの得られた通称) ③投与法、④臨床試験の場合は試験の名称または研究グループ名称—この順番に命名してください。(day8, day15 などの投与日がある場合、オーダリングシステム上は別レジメン名となりますので、承認後⑤として・day8 や・day15 が加わります。)

(a)投与スケジュール記載例

薬剤名	投与量	day1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
薬剤A	Xmg/m ²	●																											
薬剤B	Ymg/m ²	●							●							●													
1コース期間																													
		28日			目標コース数					口有 (コース)		■無(PDまで)																	

(b)投与日のスケジュール記載例

投与順序	投与薬剤名(商品名)	投与量		投与経路	投与方法	投与時間		その他コメント	投与日 Day(丸数字は投与順番を記載)																					
		量	単位						1	2	8																			
記載例	アロキシシ注	0.75	mg	側管	点滴	30	分	抗がん剤投与30前より開始	①																					
	デキサート注	9.9	mg																											
	生食	100	mL																											
	生食	250	ml																											
1				メイン	点滴		分	ルートキープ	①	①	①																			
	デキサート注	8.8	mg																											
	生食	100	mL																											
	生食																													
2				側管	点滴	30	分																							
	デキサート注	8.8	mg																											
	生食	100	mL																											
	生食																													
3				側管	点滴	60	分																							
	ゲムシタピン	1000	mg/m2																											
	生食	100	ml																											
	生食																													
4				側管	点滴	60	分																							
	シスプラチン	100	mg/m2																											
	生食	500	ml																											
	生食																													

レジメン名記載例： 膀胱癌・ゲムシタビン・(weekly adjuvant)

- ①疾患名
- ②薬剤名あるいはレジメンの通称
- ③必要があればスケジュールやアジュバント等を記載の順にしてください。

レジメン名(登録名)	NSCLC・Amivantamab+Lazertinib C1D1,C1D2(80kg以上)
休薬期間※	※
レジメンコード※	※
対象疾患	非小細胞肺癌
診療科名	呼吸器・感染症内科
記入者名	

抗がん剤名(一般名)	投与量		day1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
アミバンタマブ	350	mg	●																											
アミバンタマブ	1050	mg		●																										
アミバンタマブ	1400	mg								●							●							●						
ラゼルチニブ	240	mg	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1コース期間		28 日		休薬期間					5 日		目標コース数					□有 (コース)					■無(PDまで)									

* アミバンタマブ: 初回は1400mgを2日間に分割して投与(1日目に350mg、2日目に1050mg)その後は1週間おきに1400mgを投与。2コース目以降は2週間おきに投与。

*ラゼルチニブ: 初日より240mgを1日1回内服 *アピキサバン2.5mgを1日2回内服を併用(治療開始後4か月間)

* 1コース目のみ治療開始2日前から、デカドロン4mg 4錠 2×朝夕で内服

メインの点滴や負荷輸液の薬剤(外液や維持液など)をレジメンマスタに登録するのは任意ですが、レジメンの一部として登録するとオーダーの際に便利です。

投与順序	投与薬剤名(商品名)	投与量		投与経路	投与方法	投与時間		その他コメント	投与日 Day(丸数字は投与順番を記載)													
		量	単位						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
記載例	アロキシ注	0.75	mg	側管	点滴	30	分	抗がん剤投与30前より開始														
	デキサート注	9.9	mg																			
	生食	100	mL																			
1	生食	500	mL	メイン	点滴	20	ml/hr		①	①												
2	デキサート注	19.8	mg	側管	点滴	30	分	抗がん剤投与60分前に投与開始	②													
	パロノセトロン注	0.75	mg																			
	ファモチジン注	20	mg																			
	生食	100	mL																			
3	デキサート注	9.9	mg	側管	点滴	30	分	抗がん剤投与60分前に投与開始		②												
	ファモチジン注	20	mg																			
	生食	100	mL																			
4	ポララミン注	5	mg	側管	静注				③	③												
5	アセリオ	1000	mg	側管	点滴	15	分		④	④												
6	ライブリバンド	350	mg	側管	点滴	4	時間	50ml/hrで投与開始。120分後異常なければ、75ml/hrに変更 計250mLに調製 インラインフィルター使用	⑤													
	生食	243	mL																			
			ml																			
7	ライブリバンド	1050	mg	側管	点滴	340	分	35ml/hrで投与開始。120分後異常なければ、50ml/hrに変更 計250mLに調製 インラインフィルター使用		⑤												
	生食	229	mL																			
			ml																			

①疾患名
②薬剤名あるいはレジメンの通称
③必要があればスケジュールやアジュバント等を記載の順にしてください。

抗がん剤名(一般名)	投与量		day1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
アミバンタマブ	350	mg	●																											
アミバンタマブ	1050	mg		●																										
アミバンタマブ	1400	mg								●							●								●					
ラゼルチニブ	240	mg	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1コース期間		28 日		休薬期間								6 日		目標コース数				□有 (コース)				■無 (PDまで)								

*ラゼルチニブ: 初日より240mgを1日1回内服 *アピキサバン2.5mgを1日2回内服を併用(治療開始後4か月間)

投与順序	投与薬剤名(商品名)	投与量		投与経路	投与方法	投与時間		その他コメント	投与日 Day(丸数字は投与順番を記載)																	
		量	単位						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12						
記載例	アロキシ注	0.75	mg	側管	点滴	30	分	抗がん剤投与30前より開始																		
	デキサート注	9.9	mg																							
	生食	100	mL																							
1	生食	500	mL	メイン	点滴	20	ml/hr		①																	
2	パロノセトロン注	0.75	mg	側管	点滴	30	分		②																	
	ファモチジン注	20	mg																							
	生食	100	mL																							
3	ボララミン注	5	mg	側管	静注				③																	
4	アセリオ	1000	mg	側管	点滴	15	分		④																	
5	ライブリバンド	1400	mg	側管	点滴	65	ml/hr	計250mLに調製 インラインフィルター使用	⑤																	
	生食	222	mL																							
			ml																							

レジメン名記載例： 膀胱癌・ゲムシタビン・(weekly adjuvant)

- ③必要があればスケジュールやアジュバント等を記載の順にしてください。

抗がん剤名(一般名)	投与量		day1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
アミバンタマブ	350	mg	●																											
アミバンタマブ	1050	mg		●																										
アミバンタマブ	1400	mg								●							●							●						
ラゼルチニブ	240	mg	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1コース期間		28 日				休薬期間				6 日				目標コース数				□有 (コース)				■無(PDまで)								

* アミバンタマブ: 初回は1400mgを2日間に分割して投与(1日目に350mg、2日目に1050mg)その後は1週間おきに1400mgを投与。2コース目以降は2週間おきに投与。

*ラゼルチニブ: 初日より240mgを1日1回内服 *アピキサバン2.5mgを1日2回内服を併用(治療開始後4か月間)

メインの点滴や負荷輸液の薬剤(外液や維持液など)をレジメンマスタに登録するのは任意ですが、レジメンの一部として登録するとオーダーの際に便利です。

投与順序	投与薬剤名(商品名)	投与量		投与経路	投与方法	投与時間		その他コメント	投与日 Day(丸数字は投与順番を記載)														
		量	単位						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
記載例	アロキシ注	0.75	mg	側管	点滴	30	分	抗がん剤投与30前より開始															
	デキサート注	9.9	mg																				
	生食	100	mL																				
1	生食	250	mL	メイン	点滴	20	ml/hr		①														
2	ファモチジン注	20	mg	側管	静注				②														
3	ボララミン注	5	mg	側管	静注				③														
4	アセリオ	1000	mg	側管	点滴	15	分		④														
5	ライブリバンド	1400	mg	側管	点滴	85	ml/hr	計250mLに調製 インラインフィルター使用	⑤														
	生食	222	mL																				
			ml																				

レジメン名記載例： 膀胱癌・ゲムシタビン・(weekly adjuvant)

- ③必要があればスケジュールやアジュバント等を記載の順にしてください。

抗がん剤名(一般名)	投与量		day1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
アミバンタマブ	350	mg	●																											
アミバンタマブ	1050	mg		●																										
アミバンタマブ	1400	mg								●							●							●						
ラゼルチニブ	240	mg	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1コース期間		28 日		休薬期間						6 日						目標コース数				□有 (コース)				■無(PDまで)						

* アミバンタマブ: 初回は1400mgを2日間に分割して投与(1日目に350mg、2日目に1050mg)その後は1週間おきに1400mgを投与。2コース目以降は2週間おきに投与。

*ラゼルチニブ: 初日より240mgを1日1回内服 *アピキサバン2.5mgを1日2回内服を併用(治療開始後4か月間)

メインの点滴や負荷輸液の薬剤(外液や維持液など)をレジメンマスタに登録するのは任意ですが、レジメンの一部として登録するとオーダーの際に便利です。

投与順序	投与薬剤名(商品名)	投与量		投与経路	投与方法	投与時間		その他コメント	投与日 Day(丸数字は投与順番を記載)														
		量	単位						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
記載例	アロキシ注	0.75	mg	側管	点滴	30	分	抗がん剤投与30前より開始															
	デキサート注	9.9	mg																				
	生食	100	mL																				
1	生食	250	mL	メイン	点滴	20	ml/hr		①														
2	ファモチジン注	20	mg	側管	静注				②														
3	ボララミン注	5	mg	側管	静注				③														
4	アセリオ	1000	mg	側管	点滴	15	分		④														
5	ライブリバンド	1400	mg	側管	点滴	125	ml/hr	計250mLに調製 インラインフィルター使用	⑤														
	生食	222	mL																				
			ml																				

レジメン名記載例： 膀胱癌・ゲムシタビン・(weekly adjuvant)

- ①疾患名
- ②薬剤名あるいはレジメンの通称
- ③必要があればスケジュールやアジュバント等を記載の順にしてください。

レジメン名(登録名)	NSCLC・Amivantamab+Lazertinib C1D1,C1D2(80kg未満)
休薬期間※	※
レジメンコード※	※
対象疾患	非小細胞肺癌
診療科名	呼吸器・感染症内科
記入者名	

抗がん剤名(一般名)	投与量		day1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
アミバンタマブ	350	mg	●																											
アミバンタマブ	1050	mg		●																										
アミバンタマブ	1400	mg								●							●													
ラゼルチニブ	240	mg	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1コース期間		28 日		休薬期間					5 日		目標コース数					□有 (コース)					■無(PDまで)									

* アミバンタマブ: 初回は1400mgを2日間に分割して投与(1日目に350mg、2日目に1050mg)その後は1週間おきに1400mgを投与。2コース目以降は2週間おきに投与。

*ラザルチニブ: 初日より240mgを1日1回内服 *アピキサバン2.5mgを1日2回内服を併用(治療開始後4か月間)

* 1コース目のみ治療開始2日前から、デカドロン4mg 4錠 2×朝夕で内服

メインの点滴や負荷輸液の薬剤（外液や維持液など）をレジメンマスタに登録するのは任意ですが、レジメンの一部として登録するとオーダーの際に便利です。

投与順序	投与薬剤名(商品名)	投与量		投与経路	投与方法	投与時間		その他コメント	投与日 Day(丸数字は投与順番を記載)													
		量	単位						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
記載例	アロキシ注	0.75	mg	側管	点滴	30	分	抗がん剤投与30前より開始														
	デキサート注	9.9	mg																			
	生食	100	mL																			
1	生食	500	mL	メイン	点滴	20	ml/hr		①	①												
2	デキサート注	19.8	mg	側管	点滴	30	分	抗がん剤投与60分前に投与開始	②													
	パロノセトロン注	0.75	mg																			
	ファモチジン注	20	mg																			
	生食	100	mL																			
3	デキサート注	9.9	mg	側管	点滴	30	分	抗がん剤投与60分前に投与開始		②												
	ファモチジン注	20	mg																			
	生食	100	mL																			
4	ボララミン注	5	mg	側管	静注				③	③												
5	アセリオ	1000	mg	側管	点滴	15	分		④	④												
6	ライブリバンド	350	mg	側管	点滴	4	時間	50ml/hrで投与開始。120分後異常なければ、75ml/hrに変更 計250mLに調製 インラインフィルター使用	⑤													
	生食	243	mL																			
			ml																			
7	ライブリバンド	700	mg	側管	点滴	4	時間	50ml/hrで投与開始。120分後異常なければ、75ml/hrに変更 計250mLに調製 インラインフィルター使用		⑤												
	生食	236	mL																			
			ml																			

レジメン名記載例： 膀胱癌・ゲムシタビン・(weekly adjuvant)

- ③必要があればスケジュールやアジュバント等を記載の順にしてください。

抗がん剤名（一般名）	投与量		day1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
アミバンタマブ	350	mg	●																											
アミバンタマブ	1050	mg		●																										
アミバンタマブ	1400	mg								●							●													
ラゼルチニブ	240	mg	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1コース期間		28 日		休薬期間								6 日		目標コース数				□有（ コース）				■無（PDまで）								

*アミバンタマブ: 初回は1400mgを2日間に分割して投与(1日目に350mg、2日目に1050mg)その後は1週間おきに1400mgを投与。2コース目以降は2週間おきに投与

*ラゼルチニブ: 初日より240mgを1日1回内服 *アピキサバン2.5mgを1日2回内服を併用(治療開始後4か月間)

メインの点滴や負荷輸液の薬剤(外液や維持液など)をレジメンマスタに登録するのは任意ですが、レジメンの一部として登録するとオーダーの際に便利です。

投与順序	投与薬剤名(商品名)	投与量		投与経路	投与方法	投与時間		その他コメント	投与日 Day(丸数字は投与順番を記載)																
		量	単位						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
記載例	アロキシ注	0.75	mg	側管	点滴	30	分	抗がん剤投与30前より開始																	
	デキサート注	9.9	mg																						
	生食	100	mL																						
1	生食	500	mL	メイン	点滴	20	ml/hr		①																
2	パロノセトロン注	0.75	mg	側管	点滴	30	分		②																
	ファモチジン注	20	mg																						
	生食	100	mL																						
3	ボララミン注	5	mg	側管	静注				③																
4	アセリオ	1000	mg	側管	点滴	15	分		④																
5	ライブリバンド	1050	mg	側管	点滴	85	ml/hr	計250mLに調製 インラインフィルター使用	⑤																
	生食	229	mL																						
			ml																						

レジメン名記載例： 膀胱癌・ゲムシタビン・(weekly adjuvant)

- ③必要があればスケジュールやアジュバント等を記載の順にしてください。

抗がん剤名(一般名)	投与量		day1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
アミバンタマブ	350	mg	●																											
アミバンタマブ	1050	mg		●																										
アミバンタマブ	1400	mg								●							●							●						
ラゼルチニブ	240	mg	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1コース期間		28 日				休薬期間				6 日				目標コース数				□有 (コース)				■無(PDまで)								

* アミバンタマブ: 初回は1400mgを2日間に分割して投与(1日目に350mg、2日目に1050mg)その後は1週間おきに1400mgを投与。2コース目以降は2週間おきに投与。

*ラゼルチニブ: 初日より240mgを1日1回内服 *アピキサバン2.5mgを1日2回内服を併用(治療開始後4か月間)

メインの点滴や負荷輸液の薬剤(外液や維持液など)をレジメンマスタに登録するのは任意ですが、レジメンの一部として登録するとオーダーの際に便利です。

投与順序	投与薬剤名(商品名)	投与量		投与経路	投与方法	投与時間		その他コメント	投与日 Day(丸数字は投与順番を記載)														
		量	単位						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
記載例	アロキシ注	0.75	mg	側管	点滴	30	分	抗がん剤投与30前より開始															
	デキサート注	9.9	mg																				
	生食	100	mL																				
1	生食	250	mL	メイン	点滴	20	ml/hr		①														
2	ファモチジン注	20	mg	側管	静注				②														
3	ボララミン注	5	mg	側管	静注				③														
4	アセリオ	1000	mg	側管	点滴	15	分		④														
5	ライブリバンド	1050	mg	側管	点滴	125	ml/hr	計250mLに調製 インラインフィルター使用	⑤														
	生食	229	mL																				
			ml																				

様式3

(審査の参考にしますので簡単に記載してください。)

基準項目																				
適格基準	対象疾患：EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌 ・細胞診もしくは組織診でEGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌と診断済み ・PS 0-1 ・年齢上限なし ・活動性の自己免疫疾患を有さない																			
開始基準	治療遂行に支障のある感染症や臓器障害がみられない 具体的には以下の投与規準を満たす ・ANC $\geq 1500/\mu\text{L}$ ・PLT ≥ 7.5 万/ μL ・Hb $\geq 10\text{g/dL}$ ・T-Bill $\leq 1.5 \times \text{ULN}$ ・AST または ALT は $\leq 3 \times \text{ULN}$ (肝転移がある場合には $\leq 5 \times \text{ULN}$) ・血清 Cr $\leq 1.5\text{mg/dL}$ ・重篤な神経障害がない ・臨床的に重要な心電図所見がない ・活動性の肺血栓塞栓症や深部静脈血栓症がない ・ベースライン時の室内気での酸素飽和度が $> 90\%$																			
投与量 変更基準	本レジメンではラゼルチニブ 240 mgを連日内服。アミバンタマブ点滴静注を 1 日目 350 mg、2 日目 1050 mg、8 日目以降は 1400 mgを投与する。(体重 80 kg未満はそれぞれ 350 mg、700 mg、1050 mg)。副作用などの理由による休薬後に投与再開する場合には添付文書で定められた投与量を投与する。 ライブリバント[®] <table><tr><th>副作用発現時の投与量</th><th>1段階減量</th><th>2段階減量</th><th>3段階減量</th></tr><tr><td>1,050mg</td><td>700mg</td><td>350mg</td><td rowspan="2">中止</td></tr><tr><td>1,400mg</td><td>1,050mg</td><td>700mg</td></tr></table> ラズクルーズ[®] <table><tr><th>初回投与量</th><th>1段階減量</th><th>2段階減量</th><th>3段階減量</th></tr><tr><td>240mg/日</td><td>160mg/日</td><td>80mg/日</td><td>中止</td></tr></table>	副作用発現時の投与量	1段階減量	2段階減量	3段階減量	1,050mg	700mg	350mg	中止	1,400mg	1,050mg	700mg	初回投与量	1段階減量	2段階減量	3段階減量	240mg/日	160mg/日	80mg/日	中止
副作用発現時の投与量	1段階減量	2段階減量	3段階減量																	
1,050mg	700mg	350mg	中止																	
1,400mg	1,050mg	700mg																		
初回投与量	1段階減量	2段階減量	3段階減量																	
240mg/日	160mg/日	80mg/日	中止																	

以下の①～③のうち、当該レジメンが該当する箇所にチェックしてください。

- ① 標準治療^{注3)}である。または、標準治療に準ずる治療である ☒
- ^{注3)} 標準治療とはエビデンスレベル「Ⅱ」以上であることを原則とします。
- ② 臨床試験の場合は IRB にて承認をうけている ☐
- ② ①②いずれにも該当しない(通常審査での申請は不可) ☐

①、③の場合 エビデンスレベルを以下の表にチェックしてください。重要文献も添付してください。
また、当該レジメンの申請理由について記入してください。なお、③の場合は当該レジメンをどのような
位置づけで実施しようとしているのか、ガイドラインに一応の記載がある、学会やコミュニティでの
コンセンサスがある、診療科内でのコンセンサスがある、など、そのレジメンの信頼度について
申請者がどのように判断した上で申請しているのか、が具体的に分かるよう申請理由に記載して下さい。

Level	内容	チェック欄
I	Phase III のランダム化比較試験の結果、優越性もしくは非劣性を示したもの	☒
II	Phase II の prospective study の結果により、標準治療になりうるものが学会などで広くコンセンサスを得ているもの	☐
III	Phase II などの prospective study	☐
IV	Retrospective study (case control study など)	☐
V	Case reports	☐
VI	専門家の意見	☐

申請理由 ^{注4)}	未治療の EGFR 遺伝子変異陽性の切除不能な進行・再発非小細胞肺癌を対象に行われた国際共同第Ⅲ相試験(MARIPOSA 試験)において、Amivantamab+Lazertinib 群の患者の奏効割合は 86.2%、無増悪生存期間中央値 23.72 か月(Osimertinib 群: 16.59 か月)、全生存期間中央値は未達(36.7 か月)であり、1 年を超える OS 改善効果が期待されます ¹⁾ 。現在の EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌治療の腫瘍である Osimertinib に対する優越性が示されており、今後使用機会が増加すると思われます。
参考文献	1) Cho BC, et al.; MARIPOSA Investigators. Amivantamab plus Lazertinib in Previously Untreated <i>EGFR</i> -Mutated Advanced NSCLC. N Engl J Med. 2024 Oct 24;391(16):1486–1498. doi: 10.1056/NEJMoa2403614.

^{注4)} このレジメンの妥当性や必要性を含め、申請理由を審査委員にわかりやすく記載してください。
無記入の場合には、審査対象となりませんのでご注意ください。なお、迅速審査の場合には、
レジメンの説明に加えて、当該患者背景や使用する理由を記載してください。